

# 浜松市環境基本計画

水と緑と光が響きあう環境共生都市を目指して

～次世代に、豊かな暮らしを継承するために～



平成 20 年 3 月

## はじめに

平成 17 年 7 月の市町村合併により誕生した新浜松市は、市域の拡大とともに、多様な自然環境、歴史風土、文化を持つ都市となりました。特に、市域の 68% を占める豊かな森林や、天竜川、浜名湖、佐鳴湖、遠州灘といった個性ある水辺環境、またそこに生息する多種多様な動植物など、本市が有する自然環境は、貴重な財産であり、市民に潤いと安らぎを与えています。私たちは、これらの豊かな自然環境を保全・活用する一方、本市を取り巻く、大気汚染・水質汚濁などの公害、佐鳴湖の水質汚濁、遠州灘海岸の侵食、温室効果ガスの排出量の増加などの複雑かつ多様化の一途をたどっている環境問題の改善に、緊急に取り組まなければなりません。



また、世界に目を向けてみますと、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が報告した第 4 次評価報告書では、温暖化の影響が今すでに表れており、この先も化石エネルギーに頼る高度経済成長社会を続けると、干ばつ、熱波、洪水などの深刻な事態に世界は直面すると警告しています。このように環境問題は、世界レベルでも緊急な改善が必要な状況になっています。

そこで、これら大きく移り変わり行く変化に的確に対応し、総合的に施策を推進するため、平成 11 年に策定した「浜松市環境基本計画」を今回、大幅に見直しました。見直し後の計画では、「水と緑と光が響きあう環境共生都市」をその基本目標にし、その実現に向けて 5 つの基本方針と 27 の施策の基本的方向を示しています。その中でも特に、主体性や地域性、緊急性から判断した「環境教育・環境学習の推進」や「森林の保全・活用」、「天竜川・浜名湖流域の活性化」、「公害の改善」、「地球温暖化対策の推進」の 5 項目を、主要施策として位置づけ、市を挙げて重点的に推進していきます。さらに、これらの施策や事業の推進の目安とすべく 59 の環境目標値を設定し、毎年、達成状況を公表することで、市民の皆さまとともに着実に計画を推進してまいります。

今こそ私たちは、「Think Globally、Act Locally」（地球規模で考え、地域から行動する）を実践し、この水と緑と光に満ちた美しい浜松市を、次世代に引き継いでいかなければなりません。そのためには、市だけではなく、市民、事業者の皆さまの連携・協働が何より重要になりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、計画策定にあたり、ご尽力を賜りました「浜松市環境審議会」、「浜松市環境基本計画策定市民検討委員会」、「市民ワークショップ」の各委員や参加者の皆さまをはじめ、数多くの貴重なご意見をいただきました市民の皆さまに心からお礼申し上げます。

平成 20 年 3 月

浜松市長 鈴木 康友